

【課題を見つけ解決する力】生き方探究教育パッケージプログラム(例)				生き方探究教育 パッケージプロ グラムを支える 日常活動
○教科等の目標 ◆⑤課題発見能力 ◆⑥課題解決能力				
教科(国語・社会・算数・理科・生活・ 音楽・図画工作・家庭・体育)	領域(道徳・外国語活動・ 総合的な学習の時間・特別活動)	生き方探究館などにおける 体験的な学習		
小学校 第4学年	<7月/国語> 「新聞のとくちようと作り方を知ろう：新聞を作ろう」(7) ○新聞の特徴や作り方を知り、伝えたいことが明確になるように文章を書き、新聞を作ることができるようにする。 ◆⑤身近な出来事の中から、伝えたいことを選ぶ。 ◆⑥見学したり、話を聞いたりして新聞記事に書く情報を集める。	<適宜/特別活動(学級活動)など> 「情報モラルについて」 ※第5・6学年も同じ ◆⑥情報モラルに留意し、情報を収集したりまとめたりする。	<総合的な学習の時間など> 「京都モノづくりの殿堂・工房学習」(6) ○京都では、優れたモノづくりや伝統を受け継いだ工業が盛んであることを理解するとともに、日本のモノづくりをリードする京都の先端産業や先端科学に関心をもち、 ○モノづくり企業創業者の生き方やモノづくりに携わる人のモノづくりへの情熱に触れることを通して、自身の将来や夢について考えを深め、その実現に向けて意欲をもち。 ◆⑤「京都モノづくりの殿堂・工房学習」を学習するに当たり、学習課題を見つける。 ◆⑥見つけた課題を自分の力で解決しようと努力する。	(低学年) *自分の周りの出来事に関心をもち、 *「なぜだろう」「不思議だな」と思うことを大切に する。 *わからないことはそのままにしておかず、誰かに尋ねるなどして解決しようとする。 (中学年) *様々な体験や読書などを通して、興味・関心を広げる。 *実際に見たり聞いたりして、自分の力で課題解決しようとする。
	<11月/国語> 「調べて発表しよう：だれもがかわかり合えるように」(16) ○関心のあることなどから話題を決め、説明するために必要な知識や情報の要点をメモすることができるようにする。 ◆⑤自分を取りまく地域社会の中から課題を見つける。 ◆⑥見学したり、話を聞いたりして、情報を集める。	<12月/道徳> 「がんばり通す：テニスのラケット」1-(2) ○やろうと決めたことは、粘り強く最後までやりとめようとする心情を育てる。 ◆⑥やろうと決めたことを達成するために努力する。		
	<1～3月/社会> 「わたしたちの京都府」(25) ○府の様子について、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、府の特色を考え、表現する。 ◆⑤根拠をもって、学習課題を選ぶ。 ◆⑥インターネットなどを活用し、見つけた学習課題を、自分の力で解決しようと努力する。	<3月/特別活動(学級活動)> 「クラブの所属」 ※第5・6学年も同じ ◆⑥根拠をもってクラブを選択する。		
小学校 第5学年	<4月/家庭> 「見つめよう！家庭生活」(17) ○自分の家庭や一日の生活をふり返り、さまざまな課題をもって、家族に協力しようとする。 ◆⑤家庭生活の中から、課題を見つける。	<4月/特別活動(児童会活動)> 「委員会の所属」 ※第6学年も同じ ◆⑤根拠をもって委員会を選択・決定する。	<総合的な学習の時間など> 「スチューデントシティ学習」(18) ○日常生活に関わる経済の働きや社会との関わりを理解できるようにする。 ○望ましい勤労観・職業観を育て、自らの生き方を考えるようにする。 ◆⑤根拠をもって課題を選び、整理する。 ◆⑥多様な方法を考え、主体的に解決する。	(高学年) *新聞やニュースなどを通して、人や地域社会との関わりに目を向け、興味・関心を広げる。 *多様な課題解決の方法を考え、情報を得る手段を広げる。
	<11月/国語> 「理由づけを明確にして説明しよう：グラフや表を引用して書こう」(4) ○目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫して、自分の考えを伝えることができるようにする。 ◆⑥多様な方法を考え、主体的に解決する。	<11月/道徳> 「公共のために：空き缶ひろい」4-(4) ○社会のために役立つ喜びを知って、進んで公共のために役立つようとする実践意欲を培う。 ◆⑤世の中に目を向け、課題を見つける。		
	<1～2月/家庭> 「考えよう 買い物と暮らし」(8) ○日常生活を振り返り、物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について課題を見つけ、その解決を目ざして、考えたり自分なりに工夫したりしている。 ◆⑥多様な方法を考え、主体的に解決する。	<2月/道徳> 「希望をもって：ヘレンと共に」1-(2) ○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけず努力する心情を育てる。 ◆⑥多様な方法を考え、課題を主体的に解決する。		
小学校 第6学年	<4月/国語> 「詩を楽しもう：せんねん まんねん 他」(2) ○1年間書き続ける課題(テーマ)を決め、書く事柄を収集・整理することができるようにする。 ◆⑤根拠をもって課題を選び、整理する。 ◆⑥多様な方法を考え、主体的に解決する。	<4月/特別活動(学級活動)> 「最上級生になって」 ◆⑤自分の興味や能力に応じた課題を設定する。 ◆⑥多様な方法を考え、主体的に課題を解決する。		
	<2～3月/理科> 「生物と地球のかんきょう」(6) ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして、生物と環境の関わりを推論する能力を育てるとともに、生物と環境との関わりについての見方や考え方をもち、することができるようにする。 ◆⑤根拠をもって課題を選び、整理する。 ◆⑥ICTを活用したりして、必要な情報を集める。	<6月/道徳> 「目標に向かって：ぼくの大文字駅伝」1-(2) ○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする実践意欲を培う。 ◆⑤自分の興味や能力に応じた目標を設定する。		
	<2～3月/算数> 「算数パスポート」(21) ○数量や図形について関心をもち、論理的に考えたり数理的に考察処理したりする良さに気づき、進んで活用して問題を解こうとする態度を育てる。 ◆⑥多様な方法を考え、主体的に解決する。	<12月/道徳> 「くじけないで：みんな同じ人間なのだ」1-(2) ○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする態度を養う。 ◆⑤自分の興味や能力に応じた目標を設定する。		

中学校 第1学年	<5月/技術家庭（技術）> 「コンピュータのしくみと基本操作」(7) ○コンピュータのしくみを知り、基本的な操作ができるようにする。 ◆⑥情報を収集したり、まとめたりするために、コンピュータを活用する。	<4月/特別活動（学級活動）> 「中学生になって」 ※第2・3学年も同じ ◆⑤学校生活について見通しをもち、自分に合った目標を設定する。	第1・2学年で取り組む場合 <総合的な学習の時間など> 「ファイナンスパーク学習」(12) ○シミュレーション学習など、問題解決的な学習を通して、経済活動の仕組みや働きに対する関心を高める。 ○日常生活と学校での教科学習との関連を認識し、自らの生き方を見つめ、主体的・創造的に問題解決を図る資質や能力及び態度を身につける。 ◆⑤家庭生活や社会生活において、自分の役割を果たしていく上での課題を設定する。 ◆⑥生活設計における様々な調査をしたり、資料を活用したりして、主体的に課題を解決する。
	<6月/国語> 「視野を広げる：わかりやすく説明しよう（情報を選ぶ）」(6) ○身近な物事から題材を選び、読み手を想定して書くことができるようにする。 ◆⑤説明文を書くための課題を設定する。 ◆⑥書く材料の集め方や選び方を知り、情報を集め、説明文を書く。	<10月/特別活動（学級活動）> 「前期の反省と後期に向けて」 ※第2・3学年も同じ ◆⑤⑥前期の反省を踏まえた上で課題をとらえ、改善・克服するために努力する。	
	<8・9月/数学> 「方程式」(12) ○文字を含む等式から、文字の値を求める方法を理解し、これを用いることによって、実際の問題が形式的、能率的に処理できるようにする。更にその方法が活用できるようにする。 ◆⑥方程式の解き方を活用し、様々な課題解決に生かす。	<12月/道徳> 「計画と実行：実践目標は小刻みに」1-(2) ○段階的に実践目標を立て、根気よく最後までやりぬく態度を育てる。 ◆⑤自分の役割を果たしていく上での実践目標を立てる。	
中学校 第2学年	<4月/数学> 「式と計算」(11) ○文字を用いた式で、数量や数量の関係の確に表現し、それを目的に応じて計算したり変形したりできるようにする。また、文字式についての理解を深め、それを活用する能力や態度を養う。 ◆⑥文字式を利用し、様々な課題解決に生かす。	<11月/道徳> 「世界の中の日本：例外人間の国」4-(9) ○日本人として自覚をもち、国際社会を生きる人間として必要な心がけを育てる。 ◆⑤自分の役割を果たしていく上での課題は何なのかを考える。	「生き方探究・チャレンジ体験」(58) ○職場体験という貴重な体験活動を行うことで、社会の一員として「働くことの意味や大切さ」を考えるようにする。 ○地域・社会との関わりの中で、自らの在り方と生き方を探究できるようにする。 ◆⑤職場体験において、自分の役割を果たしていく上での課題を設定する。 ◆⑥計画を立て、様々な調査をしたり体験したりして、自分と地域・社会との関わりについて考える。 *新聞やニュースなどを通して、人や地域社会との関わりに目を向け、興味・関心を広げる。 *上級学校や職場の情報を調査・収集し、進路選択に生かす。
	<8・9月/美術> 「伝えよう 大切なこと」(9) ○日常生活をより良い環境にしていこうと意識して、ポスターの情報伝達の手段としての役割を理解し、伝えたい内容に合った表現活動を工夫して、見る人の心に響くポスターを制作できるようにする。 ◆⑤日常生活をより良い環境にしていこうための、ポスター制作の課題を設定する。	<12月/道徳> 「強い意志：私と部活動」1-(2) ○積極的に生きることの希望とより高い目標への強い意志をもち、勇気をもって挑戦する態度を育てる。 ◆⑥強い意志をもち、課題解決に向けて積極的に取り組む。	
	<8・9月/技術家庭（技術）> 「パンフレットの製作」(16) ○情報に応じた応用ソフトウェアや機器を選択し、収集した情報を処理することができるようにする。 ◆⑥コンピュータを活用し、情報を収集したり、処理したりまとめたりする。	<3月/特別活動（学級活動）> 「学習の改善と計画」 ◆⑤1年間の反省を踏まえた上で課題を捉え、改善・克服するために努力する。	
中学校 第3学年	<4月/技術家庭（技術）> 「マルチメディアの活用」(18) ○マルチメディアの特徴と利用法を知り、マルチメディア情報を複合して、効果的に活用したマルチメディア作品を完成できるようにする。 ◆⑥計画を立て、マルチメディア情報を複合して、効果的に活用したマルチメディア情報をマルチメディア作品を完成させる。	<5月/特別活動（学級活動）> 「情報モラル（Webページ）」 ◆⑥様々な調査をしたり資料を収集したりするために活用するICTの活用の仕方について正しく理解する。	第3学年で取り組む場合 <総合的な学習の時間など> 「ファイナンスパーク学習」(12) ○シミュレーション学習など、問題解決的な学習を通して、経済活動の仕組みや働きに対する関心を高める。 ○日常生活と学校での教科学習との関連を認識し、自らの生き方を見つめ、主体的・創造的に問題解決を図る資質や能力及び態度を身につける。 ◆⑤家庭生活や社会生活において、自分の役割を果たしていく上での課題を設定する。 ◆⑥生活設計における様々な調査をしたり、資料を活用したりして、主体的に課題を解決する。
	<5月/国語> 「社会をとらえる：メディア社会を生きる」(5) ○文章の展開をとらえ図式化して、メディアを利用するために必要なことを読み取り、自分の考えをもつことができるようにする。 ◆⑥様々な資料を活用したり読み取ったりして、主体的に課題を解決する。	<10月/特別活動（学級活動）> 「進路先の調査」 ◆⑥様々な調査をしたり資料を活用したりして、進路の状況を知る。	
	<1月/理科（第2分野）> 「自然と人間：かけがえのない自然環境」(2) ○自然環境は自然界の釣り合いの上に成り立っていることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を確認する。 ◆⑤自然環境の保全について、課題を見出す。	<11月/特別活動（学級活動）> 「情報活用能力を高める」 ◆⑥課題を主体的に解決するために、適切に情報を収集したり活用したりする。	
	<2月/理科（第1分野）> 「科学技術と人間の生活：エネルギー資源」(3) ○人間が利用しているエネルギーには水力、火力、原子力など様々なものがあることを知るとともに、エネルギーの有効な利用が大切であることを認識する。 ◆⑤エネルギー資源の有効利用について、課題を見出す。	<12月/道徳> 「心の中のたたかい：足袋の季節」1-(5) ○人間の心の弱さに気づき、それを克服して生きようとする心情を育てる。 ◆⑤自分の役割を果たしていく上での課題は何なのかを考える。	